



# (都) 沼津南一色線の最適な発注方式について

## <資料目次>

1. 本事業の特性	1
2. 発注方式の種類	2
3. 設計競技方式の種類	3
4. 標準型とデザインビルドの比較	4

# 1.本事業の特性

## 【事業概要】

- ・本路線は主要な幹線道路として、市内の交通ネットワーク機能の改善を図り、地域内の安全性を確保することが必要な道路である。
- ・整備にあたっては、道路計画上に位置する高尾山古墳の重要性や、地域の歴史と深いつながりがある熊野神社、高尾山穂見神社を含む周辺までを一体的な空間とすることにより本市のランドマークを目指すものである。

## 【道路設計上の配慮事項】

- ・高尾山古墳との離隔、東海道新幹線との交差部や江原公園交差点(接続箇所)がコントロールポイントとなる。
- ・古墳保存の観点から、道路整備による古墳への影響が少ないトンネル及び橋梁の構造形式を用いる。
- ・高尾山古墳の墳丘部のうち、高く残存している後方部については毀損しない。
- ・古墳区域と道路区域が重複する箇所は、毀損する面積が出来る限り少なくなるように構造物を配置する。
- ・道路を挟む東西地域間のつながりを確保する。(東：東熊堂地区、西：西熊堂地区を分断しない)

## 【景観における配慮事項】

- ・古墳の保存、将来的な利活用を考慮した空間形成を図る。
- ・古墳と地域との調和に配慮したデザイン(形状、素材、色彩)とする。
- ・利用者のヒューマンスケールに配慮し、圧迫感や煩雑さを軽減する。



地域の歴史や文化を踏まえ、古墳と道路を一体的な空間として整備することでシンボル性の高い施設となるよう、幅広いアイデアから優れたデザインを求めるものである。

## 2.発注方式の種類

### ■入札方式・プロポーザル方式・設計競技方式の比較・評価

	入札方式	プロポーザル方式	設計競技方式(コンペ)
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定の資格・成績等の参加要件を満たす者を一般公募あるいは発注者が指名して実施する入札による単純な<b>価格競争</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的デザインを競うのではなく、あくまで<b>業務に対する技術的方針や考え方を競い</b>、方針や考え方が最も優れている<b>設計者(人)</b>を選定する方式。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>発注者側から示された対象とする施設や空間に求める機能や条件に合致した設計案を募り</b>、最も優秀とみなされた<b>設計案(デザイン)</b>を選ぶ方式。</li> </ul>
対 象 選 定	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>価格</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>設計者(人)</b> :これまでの経験・実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>設計案(デザイン)</b> :対象における具体の提案</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が定める特記事項によって決められた<b>業務内容以上の提案は得られない</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選考の段階で<b>具体の設計案が提案されないため、デザインを評価することはできない</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計競技では<b>具体的な設計案(デザイン)を求めるため、デザインを評価することができる</b>。</li> </ul>
			○

・古墳の保存・活用等の観点を踏まえたデザインが重要であるという本事業の特性を踏まえると、実際の設計案(デザイン)を競う「**設計競技方式**」が**最も適している**。

### 3.設計競技方式の種類

#### ■設計競技方式における5種類の比較・評価

	アイデア公募型	チャレンジ型	標準型 :設計業務付帯型	デザインビルド 付帯型	DBO付帯型
概要	・イベント性を主目的とし、必ずしも実現を前提としない方式。	・高度な専門能力を有しない者も対象に、幅広くデザインを募集する方式。 ※規模が小さく、技術的難易度の低い対象物に限定される必要がある。	・選定された設計案を基本とした詳細設計までの業務の実施権を与える設計競技。	・選定された設計案を基本とした設計及び施工の実施権を与える設計競技。	・選定された設計案を基本とした詳細設計、施工及び管理・運営を実施する優先交渉権を与える設計競技。
対象者	一般の方も含む	専門性を有しない者(類似実績や経験が少ない技術者を対象)	高度な専門性を有する者	高度な専門性を有する者	高度な専門性を有する者
範囲	・アイデア	・設計	・設計	・設計 ・施工	・設計 ・施工 ・管理運営方針
評価	・本事業は実現を前提としているため、 <b>適さない</b> 。	・本事業は土木分野の設計技術に関する高度な専門能力を必要とするため、 <b>適さない</b> 。	・設計競技方式における標準的な類型であり、 <b>適合性がある</b> 。	・設計・施工を一括して発注する可能性も十分に考えられるため、 <b>適合性がある</b> 。	・本事業においては、管理・運営を民間に委ねる予定がないため <b>適さない</b> 。
	×	×	○	○	×

・本事業においては、「標準型」と「デザインビルド付帯型」が**適している**。

## ■標準型とデザインビルド(DB)付帯型の比較・評価

評価項目		標準型		デザインビルド付帯型	
①	デザインの幅と質	本事業は、古墳の保存・活用を踏まえた設計が必要であり、それを実現可能なデザイン(設計案)を選ぶことが重視される。標準型では、設計案のみが競技対象となり、 <b>デザインを優先することができる。</b>	○	施工のしやすさ、利益率のよい材料を使う等により工事利益の出やすさにインセンティブが働いたデザインや、 <b>施工者の視点に偏った設計</b> になりやすい。	△
②	施工の確実性	施工方法等で、 <b>現地と相違する</b> 可能性がある。	△	設計・施工を一括発注するため、 <b>施工計画が考慮された設計案</b> が作成できる。	○
③	参加者の確保	単独でも応募でき、 <b>応募へのハードルが低い</b> 。また、業務内容が設計業務のみであるため、参加者にとって予定価格が想定し易く、契約時に不確定要素が少ないため <b>参加者にリスクがない</b> 。	○	単独で応募可能な参加者が大手の施工会社などに限られ、そうでない場合はJV等の必要があるため、 <b>十分に競争参加者を得られない可能性がある</b> 。また、想定事業費と実施費用に差が出る可能性があり、 <b>参加者・発注者双方にリスクがある</b> 。	△
④	事業規模・施工難易度	事業規模は大きい <b>が難易度は高くない</b> ため、 <b>設計・施工分離で問題ない</b> 。	○	事業規模は大きい <b>が難易度は高くなく</b> 、また、 <b>特定の施工のノウハウを必要とするものでない</b> 。	△
⑤	事業期間	設計と施工、それぞれに契約等の手続きが必要であるが、事業完了目標時期に <b>影響を及ぼすものでない</b> 。	○	設計・施工を一括発注し、一元化することにより、設計の段階から施工の準備が行えるため、 <b>時間短縮は可能である</b> 。	○